

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート										
事務事業名		都市計画マスタープラン改定事業						予算事業名		都市計画総務事務経費				
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令		都市計画法			
				08	03	01	0501	政策経費						
総合計画体系		2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分		主要事業				
		2-1計画的で魅力あるまちづくり(都市計画)												
		①計画的な市街地の形成												
事業期間		継続 (令和 2年度～令和 3年度)						担当課係等		都市計画課 計画係				
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
持続可能で安全安心なコンパクトなまちづくり							平成4年の都市計画法改正により、各自治体で都市計画マスタープランの策定が義務付けられ、本市では平成14年度に策定している。							
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】							
居住機能や都市機能の立地の誘導を図り、中心拠点、生活拠点に集約するコンパクトシティを形成するため、マスタープランの一部と見なされる立地適正化計画を策定する。							都市計画区域(市内全域)							
							【事業をとりまく環境の変化】							
							都市計画マスタープランについては、その後の社会経済情勢の変化に対応と市総合計画をはじめ庁内各部局の施策との整合を図るため平成29年6月に改定しているが、人口減少・超高齢化社会が到来し、20年先を見据えたまちづくりが求められている。							
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】						
・立地適正化計画の策定(2か年)														

■事業費

		R01年度	R02年度			
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金	0	3,890			
	県 支 出 金	0	0			
	地 方 債	0	0			
	そ の 他	0	0			
	一 般 財 源	0	3,892			
歳 入 計 (千 円)		0	7,782			
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)	金額 (千円)	金額 (千円)			
	12 委託料	0	7,782			
歳 出 計 (千 円) (A)		0	7,782			
伸 び 率 (%)			皆増			
備 考	総合計画 71 ページ 予算書 143 ページ					

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	立地適正化計画策定	式	目標	0.00	1.00	0.00
	計画策定のため現状分析・課題等を整理する。		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	立地適正化計画策定	式	目標	0.00	0.00	1.00
	居住誘導区域、都市機能誘導施設・区域の設定などを行い計画を策定する。		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	人口減少・高齢化社会の急激な進展を受け、コンパクトなまちづくりが望まれていることから、その計画策定は必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政が実施することは妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	都市計画における高度な知識を必要とすることから、コンサルに業務委託することは妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	業務委託により策定するが、コスト削減は難しい。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	コンパクトなまちづくりを進めるため、一部には制限等が生じることになる。
有効性	成果向上の余地		
進捗度	事業の進捗		
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
20年先のまちづくり像を明らかにし、厳しい財政状況を踏まえるとともに、人口が減少することを前提としながらも持続可能な身の丈にあったコンパクトなまちづくりを目指す計画を策定する。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 今後の人口減少・超高齢化社会の到来に備え、本計画を策定し、持続可能で安全安心なコンパクトなまちづくりの方向性を示し、策定後の各種補助事業によるまちづくりを進めることは非常に重要である。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	